

あなたにオススメ



Recommended by



マイナンバーの通知カード（見本）

政治・経済 経済プレミア・トピックス

## 大増税よりも恐ろしい？ マイナンバー制度の威力

岩佐孝彦 / 税理士

2015年11月12日

241

0

### マイナンバー制度開始の衝撃（1）



10月23日から一部の自治体でマイナンバーの通知カードの配達が始まりました。通知カードの配達を担う日本郵便によると、全国約5200万世帯のほぼ全てに対し、簡易書留で郵便物を配るようなことは前例がないとのこと。大都市では郵便局の準備に時間がかかり、全世帯への配達は11月末ごろまでかかる見通しといわれています。

いずれにせよ、マイナンバー制度は戦後最大の社会制度改革であり、全国を結ぶ壮大な情報ハイウエーが構築されます。来年1月から運用が始まり、徐々に適用の範囲を拡大していくマイナンバー制度について、通知カードがみなさんの手元に届く今のタイミングで、その概要を3回に分けてお伝えします。メリット・デメリットだけでなく、国の意図や注重点、私たちはどのようにマイナンバーと付き合えばよいのか、などについて考えるきっかけにできればと思います。

### マイナンバーは徴税の「切り札」に

制限なく記事をお読みいただく方法はこちら

経済産業省 中小企業庁

**親事業者と下請事業者**の  
適正な価格取引を推進するため  
47都道府県で、**3つの講習会**を  
開催中！ 受講無料

「デキトリ講習会（正式名称：適正取引推進講習会）」  
のお申し込み受付中！ ぜひ、ご参加ください。

- 1 下請代金法**（下請代金支払遅延等防止法）  
【2016年3月までに計260回実施予定】
- 2 下請ガイドライン**  
（下請適正取引等推進のためのガイドライン）  
【2016年3月までに計160回実施予定】
- 3 消費税転嫁対策特別措置法** など  
【2016年3月までに計80回実施予定】

講習会の日程・会場や  
**お申し込みは、こちらから！**

キーワードで探す



### アクセスランキング

- 1** 大増税よりも恐ろしい？ マイナンバー制度の威力
- 2** 江沢民氏登場で習主席の権威を失墜させた関兵式
- 3** <日本郵政> 株価好調、追加売却に早くも関心
- 4** 広報に丸投げ 説明責任果たさぬ東芝役員の日熊依然
- 5** 東芝が抱える「アキレスけん」ウェスタンハウス

マイナンバーとは、生まれたばかりの赤ん坊からお年寄りまで、全ての国民に割り振られる12ケタの「背番号」です。この番号は、個人の所得、健康保険、雇用保険などの社会保障に関する情報とひも付けられます。

政府は「納税、年金などの行政手続きが簡素化される」と喧伝（けんでん）しています。確かに社会保障などの手続きが一つの番号で行えるようになれば、今よりはるかに便利になるでしょう。しかし、それと引き換えに私たち国民が失うものは計りしれないと筆者は考えます。

マイナンバー制度は、税の徴収の「切り札」となるからです。マイナンバー制度の開始は、国税庁と財務省の長年の悲願達成とも言われています。今後の日本では、所得税や相続税、消費税の増税よりも、もっと大ごとであり、恐ろしいことが待っているとんでも過言ではないでしょう。



マイナンバーの通知カードを配達し、印鑑をもらう郵便局員（右）＝北九州市小倉北区で2015年11月6日、比嘉洋撮影

なぜ、筆者がマイナンバー制度の開始が恐ろしいと考えるのか、その理由を説明しましょう。

### 資産、所得の情報が国に簡単に把握される

それは、私たちのお金に関するほぼ全ての情報が順次、国家を運営する官僚機構に握られることになるからです。

国が、国税局を中心にマイナンバー制度の導入に取り組んだ理由は明快です。税金が入らなければ、国家が成り立たないからです。「国家権力とは何か」を突き詰めていけば、「徴税権」と「警察権」になりますが、より重要な方といえば、徴税権が残ります。しかし徴税権を駆使するには、国民が持つ資産、所得の正確な情報が必要になります。

この情報収集が、マイナンバー制度が導入されることでいとも簡単にできるようになります。従来より、国税庁はK S K（国税総合管理）システムを導入しています。全国524の税務署が全てコンピュータネットワークで結ばれるK S Kシステムには、全国の法人や個人の資産、所得に関する情報が蓄積され、過去も現在の申告と

制限な情報が蓄積され、過去も現在の申告と

## イチ押しコラム

### 育児サバイバル

取るのが大変取っても大変な育児休業の現実

藤田結子 / 明治大商学部准教授  
政府が「女性活躍」の旗を振るなか、当の女性たちは何を望んでいるのでしょうか。働きながら子供を育てる女性の「リアルな暮らし・ささやかな夢」を、...



### メディア万華鏡

漫画ヒモザイルは休載したが専業主夫育成は「あり」

山田道子 / 毎日新聞紙面審査委員  
新聞、雑誌、テレビ、ウェブといった様々なメディアが日々、大量に情報を吐き出している。そこから逃げて見えるものは？ サンデー毎日の編集長を務め...



### 決算書で読み解く企業のリアル

サッポロ「極ZERO」騒動に見る酒税法の天下無双

高下淳子 / 税理士  
決算書を公表している企業の財務状態、経営成績を分析して、その企業の現時点での力を探ります。決算書を読みこなすためのポイントやヒントも示してい...



### 知ってトクするモバイルライフ

型落ちと番号ポータビリティでお得なスマホ買い替え

石野純也 / ケータイジャーナリスト  
格安スマホの発売が相次ぎ、利用者の選択肢が広がっています。iPhoneは高価だけど、ガラケーから脱したいと考えている人に、手ごろな格安スマホ...



### マンション・住宅最前線

セグウェイで巡回、マンション管理の積極性とは

櫻井幸雄 / 住宅ジャーナリスト  
全国の住宅事情に精通する住宅評論の第一人者・櫻井幸雄さんが、首都圏や全国の最新マンション、住宅事情を解説します。現場取材に裏打ちされた正確な...



納税は基本、e-tax（国税電子申告・納税システム）によっていますが、マイナンバーが導入されれば、資産や所得に関する情報に加え、社会保障などの情報も一括管理できるようになります。



マイナンバー制度のスタートは、国税庁と財務省の長年の悲願とも言われている＝東京・麹が原の国税庁前で2015年5月3日、川村彰撮影

つまり、マイナンバー制度の本質は、国民一人ひとりの所得把握の精度向上です。課税当局は「12ケタの番号」を用いて、所得や資産状況を効率的に名寄せし、突合（とつごう）することが可能になります。まさにマイナンバー制度は、徴収側にとって「鬼に金棒」と言えるでしょう。

### 合法的に適正申告するために「生きた税金の知恵」を

私たちの未来は、イギリスの作家ジョージ・オーウェルが小説「1984年」で描いた、国民を完全な監視下に置く世界が待っているのかもしれない。

マイナンバー制度が始まれば、私たちの暮らしはガラス張りになります。極論すれば、人生をうそ偽りなく正直に生きなければならなくなると言えます。「納税は国民の義務」ですから、あなただけが課税をうまく逃れるという方法はありません。不正は徹底的に排除されるでしょう。

筆者は、遊びや息抜き、曖昧さなどの人生を色づけて豊かにするものの価値が失われてしまうのではないかと危惧しています。

国が徴税権を強化する姿勢を見せる中、その流れにあらがわずに受け身のまま税金と付き合いのは、望ましくありません。正々堂々と合法的に適正申告すべきです。かしこく税金と付き合いのためにも、生きた税金の知恵を身につけましょう。

日本人として、日本国で安心して暮らしていくには、与えられた環境の中で税金に対して最善を尽くす姿勢が大切なのです。

<2016年1月から運用開始のマイナンバー制度ですが、それは始まりに過ぎません。次回「マイナンバー制度開始の衝撃（2）」は、どのようなステップを経て本格的に導入されるようになるのかをまとめます。11月18日に掲載します>

- 【 [岩佐孝彦さん紹介ページ](#) 】
- 【 [増税ラッシュから我が身を守る控除の裏ワザ](#) 】
- 【 [医療費の節税チャンスを生かす方法](#) 】
- 【 [教育費贈与信託「非課税」のからくりとは](#) 】
- 【 [経済プレミア・トップページはこちら](#) 】



岩佐孝彦

制限なく記事全文を読む方法はこちら







1969年、兵庫県生まれ。金融資産1億円以上・年収2000万円以上の経営者をはじめ、百年企業の3代目社長、創建600年以上の寺院住職など富裕層がクライアントの8割以上を占める。サラリーマン大家さんのキャッシュフロー改善のコンサルティングも手掛ける。最新刊は、「ずっとお金持ちの人 成金で終わる人」(日本実業出版社)。

関連記事

- 英会話のレッスン代で税金を減らせる!?
- 取るのが大変取っても大変な育児休業の現実
- 法人化の最大の目的は事業の後継者を育てること
- <傾斜マンション> もしくは打ち不良が判明したら……
- 孫を喜ばせたい高齢者に大反響「一括贈与」1500万円

政治・経済



連載 経済プレミア・トピックス  
第1回を読む バックナンバー

経済プレミアのトップへ

あなたにオススメ (レコメンドシステムによる記事選択)



日本のiPhoneシェアが高いのにはワケがある  
北條一 / 野村総合研究所上席コンサルタント



1億円と1億円で買った土地、どちらの相続税が安いのか  
広田聡介 / 税理士



アイボのDNAを受け継いだソニー製ドローンの実力  
西田宗千佳 / フリージャーナリスト



「考えさせてください」の一言で空気が変わった最終面接  
内山純 / 毎日新聞編集委員



パナソニックに走った「テスラショック」とは!?  
エコノミスト編集部



「感動して鳥肌が立った」と答えた女子学生の大きな過ち  
内山純 / 毎日新聞編集委員

Recommended by

0コメント

新しいコメントを投稿  
ログイン

Text input field for comments.

投稿

